



安全・安定輸送と黒字化の実現に向けて (その5)

東地申第12号 2021年度「政策提言」の申し入れ団体交渉実施しました

9項・「撮り鉄コミュニティ」を発展させ、

「JR東日本ファンクラブ(仮称)」を開設すること。

9項・別紙説明(抜粋)

鉄道ファンのみならず当社にとって重要な顧客であることが、コロナ禍によってあらためて認識された。すでに、JR東日本スタートアップとミーチュウ株式会社による「撮り鉄コミュニティ」が実施されているが、これをさらに発展させ、「JR東日本ファンクラブ(仮称)」を開設する。

- (1) 東武鉄道の先行事例「東武鉄道公式ファンクラブ」などを参考に、魅力あるコンテンツの充実、会員の特典を増やすなどして有料会員を増やす。有料イベント等への誘致を行い増収につなげる。
- (2) 写真撮影時の注意喚起等を行い、安全に趣味を楽しむための啓蒙活動を実施する。
- (3) すでに「JRE MALL」で、鉄道部品やグッズの販売が行われているが、各総合車両センターとの連携を強化し商品供給の充実を図る。
- (4) 私鉄各社(東急電鉄、東武鉄道、小田急電鉄、相模鉄道など)の系列ホテルでは、客室に運転シミュレーターを設置して宿泊プランを販売しているが、当社ホテルグループにおいても検討する。

会社回答…「撮り鉄コミュニティ」については東京支社としては回答する立場にはないが、今後も収益の確保につながる取り組みを継続していく考えである。

10項・JRE生活圏の拡大を図るため、

「JRE POINT」のインセンティブを増やすこと。

10項・別紙説明(抜粋)

今後、社員がセールスマンとなって「JRE POINT」をアピールするために、自らが実際に使うことで商品の良さを実感する必要がある。JRE生活圏の拡大をすべての社員が担えるよう、啓発の契機とする。

会社回答…今後もグループ会社の利用促進に繋がるキャンペーンを企画していく考えである。